

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和7年度 第2回子ども・子育て会議
開催日時	令和7年10月31日（金） 午後3時00分から
開催場所	甲州市役所 1階 国際交流市民交流センター
議 題	1 こども計画概要及び策定スケジュール 2 アンケート調査結果について 3 計画の骨子（施策体系）について 4 基本理念について 5 その他
出席委員	田邊康仁委員、秋山美和委員、宮澤裕太委員、雨宮紀子委員、吉田直紀委員、岡村久美子委員、木下みどり委員、廣瀬美香委員、相澤裕美委員、辻純二委員、間下伸一委員（役員名簿順）
会議の公開または非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	子育て支援課 6名（矢口課長、向山リーダー、古屋リーダー、雨宮リーダー、加山、望月）、株式会社明豊 1名（池上）
そ の 他	

令和7年度 第2回甲州市子ども・子育て会議 審議概要（開催日：令和7年10月31日）

内容	次第に基づき以下のとおり進められた。
1. 開会	事務局 開会
2. 子育て支援課長 あいさつ	○子育て支援課長よりあいさつ。
3. 自己紹介	○各委員および事務局自己紹介を実施。
4. 会長あいさつ	○事務局 会長、副会長の選任について説明。 昨年度の会長の後任である甲州市小中学校校長会会長の辻純二委員を会長に、同じく副会長の後任である甲州市保育所連合会会長の秋山美和委員を副会長に依頼。
5. 議事	議長：会長
(1) こども計画概要 及び策定スケジュール について	○事務局 こども計画概要及び策定スケジュールについて資料に基づいて説明。  →質問・意見等特になし。
(2) アンケート調査 結果について	○事務局 アンケート（甲州市子ども・若者実態調査）結果報告書・調査結果からみえる課題について、資料に基づいて説明。  ○委員 子ども（小中学生）の学校の満足度について、甲州市の教育委員会では10年以上前からQ-U調査を続けている。学級集団の状況がどうであるかやいじめの実態について等を調査している。自分は人権擁護委員

もしているが、甲州市の子どもからは「こども人権110番」への電話が無かったと聞いている。これはQ-U調査で子ども達の状態を学校現場で常に把握している成果になっていると思う。

○議長

小中学校におけるQ-U調査の話題が出たが、この調査以外にも小学校は今年度から、中学校は昨年度の3学期から、子ども達に悩み事があるか等自分の心の状態を自分でチェックしながら、教員の方でも把握できるような取組が始まったところ。

○委員

アンケートについて、若者・小中学生の現状を知ることができ、非常に良いアンケートだと感じた。結果の捉え方について、「悩みを相談できる人がいるか」という質問に「いる」95%、「いない」5%となっていて、他の質問に関しても数字を見ると良い結果だと見受けられるが、課題として捉えているのはなぜか。

○事務局

数としては少ないが、困っていることや苦しみを相談できない子どももおり、いずれ大きな問題・課題に発展してしまうことに繋がる。市でも相談支援には力を入れているはずだが、そういった子どもの数を少しでも減らしていくことが必要ではないかと捉え、課題に挙げた。

国の調査結果との比較をしてみると、甲州市のこどもの方が良い結果の割合が高い印象ではあるが、将来甲州市を担うすべての子どもたちが、一人でも多く夢や希望を抱けるようになるよう、課題として挙げている。

○事務局

明豊池上さんの話に補足して、今回の会議では計画の基本理念（案）の提案をさせていただくが、「こども計画」はこどもに関する施策の一

<p>(3) 計画の骨子（施策体系）について</p>	<p>番上位計画にあたるため「すべてのこどもが」という表現を入れている。すべての子どもが安心して暮らせるような甲州市の子ども施策を築いていきたいという考えのもとでの分析結果と課題となっている。</p> <p>○委員 先程の説明の中で国の調査と比較した部分の話があったが、都市部と比較するとどうか。</p> <p>○事務局 国の方は「こども大綱」の中でアンケートを実施している。このアンケート調査は市町村では実施義務はないこと、市町村単位で行ったアンケートは結果が公表されていない場合もあるため、他市町村との正確な比較は難しい。あくまでも参考値として自社で請け負っている他の市町村と比べてとなるが、特に大きな違いはないと分析している。</p> <p>○委員 問15～17は自己肯定感に関する質問だと思われるが、民間の調査で自己肯定感が低い方が6割以上となったアンケートを見たことがある。甲州市は比較的高いように見受けられる。他市町村と比べてどうか。</p> <p>○事務局 他市町村の数値結果は手元に資料として無いため、記憶の限りにはなってしまうが、突出して大きな差はないと認識している。現在はどこの市町村の学校でも「自己肯定感を上げていく」ことに取り組んでいるため、以前に比べると高くなっているのではないかと。</p> <p>○事務局 計画の骨子（施策体系）について資料に基づいて説明。</p> <p>○委員 「支援」「提供」という言葉ばかりで、「自立」という部分の話があま</p>
----------------------------	---

りないように感じる。行政はお金を出すだけでなく、子どもが自分の力で経済的にも自立できるような大人を目指せて、将来甲州市に還元してもらえらるような、循環する政策を考えてもらいたい。

実際には大人でも経済的に困っている人や孤独を感じている人もいると思うが、大人が輝いていて熱量を持っている姿を見せられたら、子どもも同じように育ってくれると思う。

#### ○事務局

資料にある基本施策の中に、さらに枝分かれをして困っている家庭に対して具体的な支援対策を講じていく。甲州市独自の実のある支援とすると、昨年度9月から0～2歳児の保育料無償化を実施した。また子育て世帯や夫婦の世帯を対象に省エネ住宅のリフォームに対する補助等も始まった。人口減少に関しては全国的な問題でもあり他市町村でも同じような施策がある中で急激な人口増は難しいが、こども計画を通じ甲州市に住み続けたいと思ってもらえるよう検討を続けていく。

#### ○事務局

自立に関しては、基本施策の中の「学童期・思春期」(1)次代を担うこどもの生きる力を育成する学校の教育環境の整備について、教育委員会で「夢を叶える学びのプロジェクト事業」「GIGA スクール構想事業」「キャリア教育出前事業」等の、自分で学ぶ機会を重視した学習環境づくりに取り組んでいる。

#### ○委員

子育て支援課や福祉事業関係の課では、困難を抱える人が問題を解消し自立するために支援する立場だと思うが、子ども自身の自立やお金を稼ぐ力を身に着けるといことは教育委員会の方に関わってくるのではないか。自分の将来や夢を実現するためにどのような事を勉強すればよいかは教育委員会や学校で、ヤングケアラーや不登校等の問題を抱える子どもはもちろん、全ての家庭に対しての支援は子育て支援課で、連

<p>(4) 基本理念について</p>	<p>携をしながら進めていく必要があると感じる。</p> <p>○委員</p> <p>社会的な問題になっている「ト一横キッズ」のような子ども達が甲州市でも増えないか心配。薬物乱用(違法でないものやオーバードーズ等)についても基本施策のどこかに含まれているか。</p> <p>○事務局</p> <p>居場所の無い子ども達が集まって薬物の使用をしてしまうという面もある。子どもの居場所づくりについては甲州市でも今後取り組んでいく必要性を感じている。学童期・思春期の子どもたちの第三の居場所づくりについて検討を重ねていく。</p> <p>○議長</p> <p>以前とは全く違う社会状況になってきている。学校でも養護教諭を中心にオーバードーズに関する研修が行われており、実際にそのような状態になっていないか等、悩みを聞き入れられる体制・環境づくりをしている。</p> <p>○事務局 基本理念について資料に基づいて説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より5つの案を提案。</li> <li>・5つの案より1つの案を決定するため、多数決で上位2案を決定し、再度多数決のうえ最終的に1つの案に決定する。</li> </ul> <p>→質問・意見等特になし。5つの案より委員による多数決。</p> <p>1 度目</p> <p>案①：3票 案②：0票 案③：1票 案④：4票 案⑤：2票</p> <p>(ここで相澤委員退席)</p> <p>2 度目 上位2案(案①と案④)による多数決</p> <p>案①：4票 案④：5票</p>
---------------------	---

<p>(5) その他</p> <p>6. 閉会</p>	<p>→案④ こどもの未来を地域みんなで育てるまち 甲州市 を選出 拍手によって承認</p> <p>○委員より発言なし</p> <p>○事務局 次回会議開催日程について事務連絡。</p> <p>12月23日(火) 15時から 国際交流市民交流センター 会議前に開催通知を送付。次回会議では評価指標と今後の取り組みをまとめたものを素案という形で提示するので検討をお願いします。</p> <p>議事終了</p> <p>○副会長 閉会の辞</p>
-----------------------------	--